

第1回八千代市地域ケア会議記録

開催日	令和元年6月27日（木）		開催時間		19：30～21：30		場所		市役所別館2階第1.2会議室	
公開非公開の別		公開	傍聴人定数		50名					
参加者 (敬称略)	事例提供者	氏名	松田 淳子	所属	八千代市勝田台地域包括支援センター	職種	主任介護支援専門員	事例1		
		氏名	山下 あけみ	所属	八千代市勝田台地域包括支援センター	職種	看護師	事例2		
	事例に関わる介護サービス事業者	氏名	森田 美奈子	所属	さかいリハ・訪問看護ステーション八千代	職種	看護師	事例1		
		氏名	加藤 裕生	所属	さかいリハ・訪問看護ステーション八千代	職種	理学療法士	事例1		
		氏名	脇山 希代子	所属	パールケア訪問サービス八千代	職種	サービス提供責任者	事例2		
		氏名		所属		職種				
	第2層生活支援コーディネーター	氏名	庄田 朝子	所属	八千代市勝田台地域包括支援センター	職種	社会福祉士	事例1.2		
	助言者	氏名	得本 鋭也	所属	八千代市医師会	職種	医師			
		氏名	中澤 正博	所属	八千代市歯科医師会	職種	歯科医師			
		氏名	奥山 努	所属	八千代市薬剤師会	職種	薬剤師			
		氏名	佐藤 淳子	所属	八千代市訪問看護師会	職種	看護師			
		氏名	伊藤 進一	所属	千葉県理学療法士会	職種	理学療法士			
		氏名	白濱 徳之	所属	八千代市介護サービス事業者協議会	職種	主任介護支援専門員			
		氏名	鈴木 孝将	所属	八千代市介護サービス事業者協議会	職種	生活相談員・施設介護支援専門員			
		氏名	村田 和子	所属	八千代市社会福祉協議会	職種	事務局次長			
	事務局	氏名	若林 栄子	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	所長			
		氏名	早川 哲弘	所属	長寿支援課	職種	主査			
		氏名	我孫子 香代子	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	主任保健師			
		氏名	石橋 さなえ	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	主任保健師			
		氏名	関口 直紀	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	主任介護支援専門員			
		氏名	鈴木 翔平	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	保健師			
		氏名	大嶋 寿海	所属	長寿支援課地域包括支援センター	職種	保健師			
		氏名		所属		職種				
傍聴人	市民		1	名	介護支援専門員	7	名	介護サービス従事者	0	名
	医療従事者		0	名	地域包括支援センター職員	14	名	合計	22	名

事例概要	地区	勝田台	年齢	73	性別	女性	世帯類型	夫婦と子	
	要介護度	要支援 1	認定期間	平成31年2月1日	～	令和2年1月31日			
	家族構成	夫，長男，（長女は他県で別居）			キーパーソン	夫			
	診断名	パーキンソン病							
	サービス内容	介護予防訪問看護							
検討テーマ	ご本人の「してみたい」や「興味がある」を具体的な目標として説明や提案ができるためにはどんな視点をもっていけば良いか。								
事例 1	助言内容	内容						発言者	
		自歯の欠損部位の確認と歯科受診の勧奨。摂食嚥下能力の低下に備え、嚥下体操やがむ嚙みトレーニングを実施する。						中澤歯科医師	
		トレーニングジム等でマシンを使った歩行により、転倒予防した上で、筋力維持を図る。						中澤歯科医師	
		将来的に身体機能の低下による歩行困難等に備え、本人が楽しみを持てる期間も踏まえ、目標設定した方が良い。						得本医師	
		主治医に対し、起床時や夜間排泄時の転倒リスク軽減のために入眠剤の変更や減量の相談を行う。						奥山薬剤師	
		本人の状態に合ったパーキンソン病治療薬の相談。1日1回の服用で可能な薬やゼリー状で嚥下障害の方も飲みやすい薬がある。						奥山薬剤師	
		歩行する際、ノルディックポールを使用すると、全身の筋肉の活用と転倒防止になる。						伊藤理学療法士	
		夫も高齢のため、自家用車の運転が困難になった場合の代替手段の確保が必要。						白濱主任介護支援専門員	
		長期的に夫の介護負担が増大する可能性があるため、訪問看護による夫のサポートを行う。						佐藤訪問看護師	
		八千代市社会福祉協議会の移送サービスの活用。ボランティアセンターの活用。						村田事務局次長	
ご本人の支援に関し、同居のご長男にも協力いただけるよう働きかける。						鈴木相談員			
地域課題	移送に関する社会資源の不足。						白濱主任介護支援専門員		
	移送に関しては、第2層協議体で協議したい。						庄田コーディネーター		
感想等	歯の欠損部位の確認や嚥下体操の必要性を理解した。また、病気のフォローだけでなく、進行性疾患ということを見越した目標設定の必要性を認識した。						松田主任介護支援専門員		
	俳句に興味があるようなので、勝田台会館で行う俳句教室を案内したい。						庄田コーディネーター		
	本人の病状の進行や家族の加齢を意識し、長期的な視点を持つことの必要性を認識した。						加藤理学療法士		

事例概要	地区	勝田台	年齢	87	性別	女性	世帯類型	独居	
	要介護度	要支援2	認定期間	令和1年6月1日	～	令和4年5月31日			
	家族構成	本人，（遠方に長男，近隣に次男夫婦）			キーパーソン	次男の妻			
	診断名	慢性腎不全	廃用症候群		変形性股関節症				
	サービス内容	訪問サービス							
検討テーマ	マイペースな生活を送りたいと願っている高齢女性への自立支援の捉え方について								
事例2 助言内容	内容							発言者	
	慢性腎不全は無症状で進行するが，急性増悪し急死する可能性があるため，リビングウィルの作成や急変時の対応を念頭に入れたケアプランの作成が必要。							得本医師	
	食欲不振の原因の一つに唾液の分泌低下があるため，ガム噛みトレーニングを実施を推奨。							中澤歯科医師	
	地域の中での顔出し。							中澤歯科医師	
	担い手養成講座を行い，支え合い活動を実施している。嫁の介護負担軽減に活用できる可能性あり。							村田事務局次長	
	本人が認識しやすい水分摂取の方法を検討した方が良い。体重減少すると筋力低下するため，歩くようにして欲しい。							奥山薬剤師	
	嫁が家族介護者の集いなどに参加し，他の介護者の状況を知り，介護負担軽減を図る。							白濱主任介護支援専門員	
	職に興味がないため，出身地の物産展に行ってみてはどうか。（得本医師より，食の内容に注意を払うよう追加助言）							白濱主任介護支援専門員	
	東南アジアに出身地を持つ嫁が帰国する可能性があるため，その際のサポート体制を考えると，目線が介護保険以外の社会資源に向くのではないか。							鈴木相談員	
地域課題									
感想等	本人の生き方を邪魔したくないという思いがあり，助言が勉強になった。							山下看護師	
	有償グループのゴミだしなど活用できると思った。嫁のいないときに活用したい。							庄田コーディネーター	
	ヘルパーとして変化に気づくことと住み慣れた家での生活をサポートしたい。							脇山サービス提供責任者	